



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.22

平成24年10月19日

橋北中学校一日体験入学

(文責:後藤 達人)

今年も10月9日(火)に、6年生が橋北中学校で一日体験入学を行いました。「校区学びの一体化」の取組として、昨年度に引き続き、人権学習(6月)と一日体験入学を行いました。

9:30からのオリエンテーションで、中学校での一日体験が幕を開けました。校長先生のお話を聞いた後、橋北中学校の紹介や日程説明がありました。その後、社会、美術、理科の授業を受けていきました。



中学校での授業ということで、やや緊張感があったものの、みんなで楽しく学習を進めることができました。特に、理科の授業では、「スライム」作りをグループで協力して行うことができ、さすがは6年生だけの事はあるなあと感心しました。

毎時間、担当する先生が変わり、子どもたちも中学校型の授業の感覚が体験できたことでしょう。これから中学校進学に向け、気持ちをさらに強く持ち、小学校生活の締めくくりへと着実に進んでいってほしいものです。

さて、本日の給食は、初体験の「デリバリー給食」です。みんなで並んで、楽しくいただきました。また、これに平行して、保護者のみなさんにも、デリバリー給食の試食をしていただきました。お母さん



たちも、楽しくお話ししながら、内容のチェックをしてもらいました。感想はどうだったのでしょうか。

5限目は、子どもたちは体育を、保護者のみなさんは、6年生の修学旅行説明会を行いました。体育の時間には、東橋北小学校の子ども



たちと仲良く、楽しく授業を受けていました。中学校になっても、共

に学ぶ仲間たちです。今までの東西交流が、ここに来て実を結んでいるのでしょ。体育の後は、クラブ活動の自由見学となり、貴重な一日体験入学が終わりを迎えました。

橋北中学校区では、保幼小中の連携の下、子どもたちの豊かな育ちを実現するための「学びの一体化」の取組を推進しています。橋北地区の子どもたちを、その課題に応じ、長いスパンで見つめていこうとしています。その中心部に位置づけていることのひとつが「人権教育」です。絆とも呼べる深いつながりを築いていきたいと考えています。



赤い羽根共同募金 & 赤十字エコキャップキャンペーン

例年行っている「赤い羽根共同募金」に加え、今年は、同時に「赤十字エコキャップキャンペーン」として、ペットボトルのキャップを集めました。

このキャップを集めて送ると、赤十字を通じて「ポリオワクチン」に変わります。募金に協力しにくい子どもたちでも、ペットボトルキャップなら協力しやすいと考えたからです。毎日児童会役員が、「今〇〇本分」と数を数え、中央昇降口に掲示しています。



呼びかけの声もとても元気よく、朝から気持ちのよいこのごろです。自分たちが、自主的に、自分たちにできることを一生懸命に取り組む姿は、素晴らしいものです。この取組をしっかりとやり遂げた児童会のみなさんに敬意を表します。また、この

取組にしっかりと応え、協力してくれた全校のみなさんにも感謝します。素晴らしい子どもたちに囲まれ、職員一同うれしい気分になりました。人のために自分の力を出すことの大切さが、少しでも分かってくれるとうれしいですね。

ハロウィーンに思う



10月17日付けの新聞を読んでいたら、アメリカで起こった「服部君事件から20年」という記事が目につきました。会場を間違えたために、命を落としてしまった服部君でした。ちょっとしたことで、人生を大きく変えてしまうことがあるのですね。新聞を見て、もう10年もたったのかと思うと同時に、服部君事件そのものも忘れていた自分に気がつきました。大事な出来事を風化させずに記憶に残しておくのは、本当に難しいものなのですね。

今学校では、生花ボランティアの水谷さんの花器に、ハロウィーンを感じることができます。また、ご覧になってください。思わず笑みがこぼれます。



西橋北小学校の自然

～イヌタデ～

昨年度のNo.39でお伝えしました「スイバ畑」で、ピンクのじゅうたんを発見しました。イヌタデです。畑一面をピンクに染めて種子ができています。花は白っぽく、次々できますが、花が枯れた後の茶色い(多分)花びらは見えません。種は黒いのですが、常にピンクの萼がくが覆っているため、いつもピンクに見えるのです。子どもの頃、この花で遊んだ記憶のある方もみえるのではないのでしょうか。ちなみに、「イヌ〇〇」の「イヌ」は、あまり役に立たないとか劣るとかいった意味ですが、犬に失礼ですよ。でも結構あるんですよ。

